

## 【プログラムの内容】

▶福島県は東日本大震災により被災し、大玉村の方々も避難生活を余儀なくされました。実際に避難所となった場所で災害対応を経験します。

▶ライフラインが停止した状況下でいかに「生き抜くか」を、災害対応キャンプを通して体験し、自ら考え工夫し、災害に対応できる力を養います（体験例：火起こし、野外炊飯、テント設営、ダンボールベッドづくり、非常食調理など）。

## 【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

▶ゴール4（ターゲット4.7）：持続可能な発展を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

▶ゴール13（ターゲット13.1）：気候関連災害や自然災害に対する適応能力を強化する。



一日に必要な水の量、重さを調べる



一斗缶での野外炊飯の体験



テント設営を体験



毛布を使った担架

## 事前学習

▶自然災害等が起こった場合にはどのようなのか、その後の避難生活は時間の経過とともにどのように変化していくのかななどを調べる。

## 現地学習

▶災害対応キャンプとして、野外炊飯やダンボールベッドづくりなどを体験するほか、非常食を食べることや災害時に役立つキャンプ用品の使い方等を体験する。（コテージ等での宿泊と温泉の利用が可能です。）

## 事後学習

▶自分が住む地域で、どんな災害の可能性があるのか、災害発生時にどうしなければならないのか、避難生活をイメージしてどのような備えがあると役立つのか、避難した際にどのように行動していけばよいのかを考える。

## 【施設で対応できること】

▶過去の事例をHPに掲載しているので、本プログラム実施の参考とする。

## 【施設で対応できること】

▶災害対応のより詳細な情報提供を行う。

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 受入人数        | 30人～90人                |
| 受入可能時期（休業日） | 6月～10月<br>(火曜日(月1～2回)) |
| 受入可能時間      | 9時～16時                 |
| 体験時間        | 日帰りプラン3時間 又は 1泊2日      |

|                |                                                    |
|----------------|----------------------------------------------------|
| 対象             | 小学生、中学生、高校生                                        |
| 1人/1回<br>当たり料金 | 4,000円～/人（小学生・中学生・高校生）<br>1泊2日プランは要相談（メニュー、人数による）  |
| 備考<br>(雨天対応等)  | メニューが決まっているものではなく、御相談により内容を作っていくプログラムです。雨天対応も可能です。 |

## ▶問い合わせ

企業/施設名称：フォレストパークあだたら

担当名：遠藤、若林

TEL：0243-48-2040

営業時間：9時～17時

休館日：火曜日（月1～2回）

